

H 1 7 . 9 . 2 8 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日 時：平成17年9月28日(水) 10時00分～12時00分

議事概要：

表 H 1 7 . 9 . 2 8 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1.平成17年繁殖シーズンの調査結果について	・平成17年繁殖シーズンの調査結果について報告した。	・調査結果について了解した。	・事務局：特になし
2.生態系上位性の影響予測結果について	・生態系上位性の予測結果について説明した。	・コアエリア記載については、営巣地が特定されること、密猟等の問題が生じることから、正確な範囲を図示せずに、大まかなコアエリアを図示したほうが良いのではないかと。	・事務局：おおよその範囲を図示し、検討会での意見を踏まえて調整する。
		・狩場環境解析の信頼性に疑問が残る。定量的な解析は大切であると思うが、狩場環境解析結果から予測することは問題ではないかと。	・事務局：ロジスティック解析以外の狩場環境予測についても検討を行う。 現地調査結果からの改変 植生から見た狩場環境の改変 頻度解析(現地データ、観察時間から狩りの頻度を解析したもの) 上記の3項目についての改変率を求め、狩場環境の改変が少ないことを示し、その試みとしてロジスティック解析を行う。
		・Aペアは付替林道が予定されている谷でしか営巣地が確認されていないことから、Aペアにとって重要なエリアである。付替林道に対してどのように対応する予定か。	・事務局：現行付替案で繁殖期等は工事の一時中断で対応することを基本とするが、ルート変更あるいは付替林道無しの場合も検討する。 林道は、山林管理、町水道の配管・設置管理上必要であり、現計画どおり付け替える。 林道は「出水時に一時使用ができない時期が生じてもやむを得ない」ことを地元関係者と調整し、常時満水位以下の部分のみ付け替える。 Aペアへの影響を考え、付け替えを行わない。地元関係者と調整が必要。
		・サシバ、ハチクマについての影響については、再検討されたい。	・事務局：サシバ、ハチクマについては、モニタリング調査及び影響予測について再検討する。
3.今後の調査方針について	・今後の調査方針について説明した。	・餌の範囲についてどうなのか。狩り場や餌の情報がない中で、どうして影響はないと言えるのか。	・事務局：過去の検討会でも議論したが、CCDカメラによる観察で餌情報の蓄積を図ることで対応していき、保全措置に結びつける。
		・今後の調査方針について了解した。	・事務局：特になし